

# 市政ニュース 速報版

2013年2月14日 日本共産党岡山市議団 NO. 163  
岡山市北区大供1-1-1 086-803-1707

## 議会改革に逆行

### 議員の質問時間を削減

2月14日の議会運営委員会で自民党・無所属の会が抵抗していた一問一答形式の質問を2月議会から本格実施することが決まりました。

同時に時間を短くすることが多数決で決められてしまいました。日本共産党岡山市議団の林潤、市民ネットの井本文博が質問時間削減に反対する議論を行いました。

議会基本条例を作って、議員間討議を活発にし、審議・審査を尽くそうと議論しているときに、質問の時間を短くするのは議会改革に逆行しています。

代表質問が行われる議会では、個人質問は20分と決められてしまっているのに2月議会では一問一答方式も一括質問分割答弁方式も20分です。

党市議団は、個人質問はすべて30分に戻すべきだと主張しています。

### さらに時短の策動

60分の代表質問は50分に、30分の一括質問は25分に、代表質問のない無所属の個人質問も20分になど、さらに質問時間を削るべき、との意見が、保守系、公明党から出されています。

「無駄な発言が減る」「分かりやすい質問になる」「当局の答弁準備のコストが削減される」などが理屈です。無駄や分かりやすさと長短は関係ありません。市民の声を代弁する議員に答えるのは当局の当然の責任です。

党市議団は、議員の仕事の放棄とも言える質問時間削減に一貫して反対しています。



### 議会基本条例は修正して提案

2月11日まで議会基本条例のパブリックコメントが行われました。議会運営委員会で寄せられた意見を基に議論して、条文を一部修正して2月議会に提案することになりました。